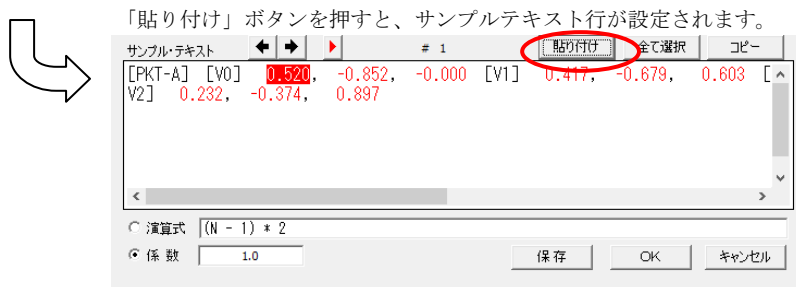
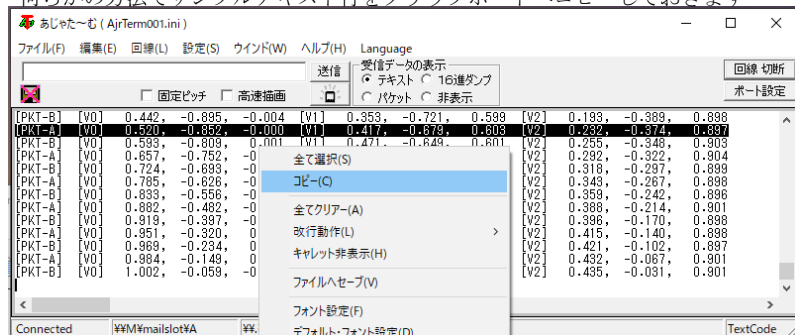


以下の手順で、テキスト行から数値の取り出条件を設定します。

1) サンプル・テキスト行の設定

まず最初に、数値を取り出すサンプル・テキスト行を設定します。

何らかの方法でサンプルテキスト行をクリップボードへコピーしておきます

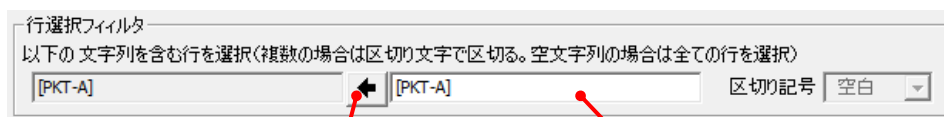


赤字は認識された数値項目を意味します。

赤反転は現在選択されている項目で、で移動できます。

2) 行選択フィルタ

何種類かあるテキスト行から、目的のテキスト行を選択する場合は、「行選択フィルタ」を設定します。

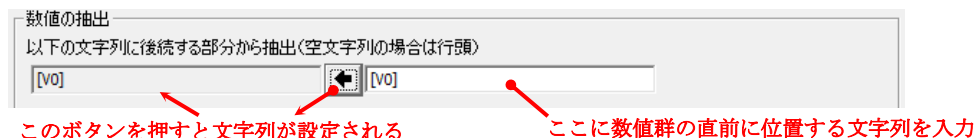


上記の例では、“[PKT-A]”という文字列が含まれるテキスト行だけが処理対象となります。
フィルタ文字列を複数設定する場合は、「区切り記号」で区切って複数の文字列を入力します (ex. “[PKT-A] [TYP1]”)
この場合は、指定した複数の文字列が全て含まれるテキスト行が処理対象となります。
行選択フィルタを空文字列とした場合は、全てのテキスト行が処理対象となります。

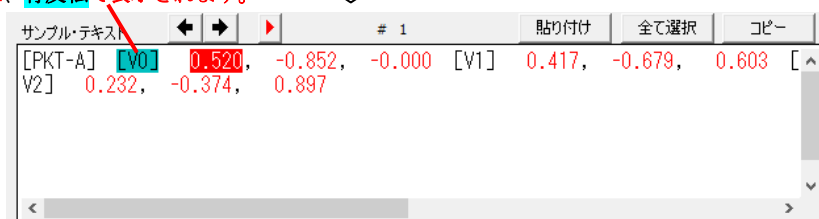
3) 抽出する数値の位置を指定

抽出する数値群の直前に位置する文字列を指定することにより、当該文字列以降から数値を認識することができます。

以下の例では、文字列「[V1]」以降から数値を認識するように設定しています。



設定した文字列は、青反転で表示されます。



4) 抽出する数値の設定

対象とする数値は、 ボタンで選択し、**x0** **z7** で当該ボタンの位置へ設定します。
または、 ボタンを押すと、 で示される位置へ設定し、設定位置と数値の選択が1つ進みます。

例えば、下左図の状態では ボタンを9回押すと下右図のように設定されます。

数値の抽出
以下の文字列に後続する部分から抽出(空文字列の場合は行頭)

[V0] [V0]

リセット	#	選択された数値(X)	#	選択された数値(Y)	#	選択された数値(Z)
	x0		y0		z0	
	x1		y1		z1	
	x2		y2		z2	
	x3		y3		z3	
	x4		y4		z4	
	x5		y5		z5	
	x6		y6		z6	
	x7		y7		z7	

サンプル・テキスト # 1 貼り付け 全て選択 コピー

[PKT-A] [V0] 0.520, -0.852, -0.000 [V1] 0.417, -0.679, 0.603 [V2] 0.232, -0.374, 0.897

→

数値の抽出
以下の文字列に後続する部分から抽出(空文字列の場合は行頭)

[V0] [V0]

リセット	#	選択された数値(X)	#	選択された数値(Y)	#	選択された数値(Z)
	x0	1	0.520	y0	2	-0.852
	x1	4	0.417	y1	5	-0.679
	x2	7	0.232	y2	8	-0.374
	x3			y3		
	x4			y4		
	x5			y5		
	x6			y6		
	x7			y7		

サンプル・テキスト # 9 貼り付け 全て選択 コピー

[PKT-A] [V0] 0.520, -0.852, -0.000 [V1] 0.417, -0.679, 0.603 [V2] 0.232, -0.374, 0.897

3つのベクトル値が設定される

「#」は、何番目の数値が選択されているかを示します。

リセット	#	選択された数値(X)	#	選択された数値(Y)	#	選択された数値(Z)
	x0	1	0.520	y0	2	-0.852
	x1	4	0.417	y1	5	-0.679
	x2	7	0.232	y2	8	-0.374
	x3			y3		

サンプルテキスト上で選択されている7番目の数値を表示します

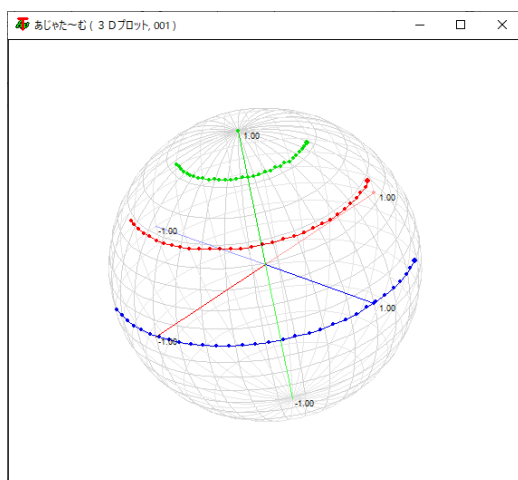
認識されている数値(赤表示の数値)の7番目の数値が選択されていることを示します。

有効な数値が設定されている場合のインジケータです。この円の色は、グラフィック上での描画色となります。

「リセット」ボタンを押すと、全ての数値選択設定がクリアされます。(上記、左図のようになります)

設定が完了したら「OK」ボタンで上書きするか、「保存」ボタンで名前を付けて保存を行ってください。

上記の設定例では、受信したテキスト行から3つのベクトル値が抽出されて、以下のような3Dプロット・グラフが表示されます。



視点の設定

視点の設定は、ポップアップメニューの「XY座標面」「XZ座標面」「YZ座標面」「3D座標面」で特定の視点を設定するか、あるいは、グラフウインド上を、マウスの左ボタンでドラッグすることにより、任意の視点を設定することができます。

マウスで横方向にドラッグすると、表示物体がX軸回りに回転します。

マウスで縦方向にドラッグすると、表示物体がY軸回りに回転します。

CTRL キーを押しながら横方向にドラッグすると、表示物体がZ軸回りに回転します。